

2 神領第1号墳 (神領町1-26-1)



築造時期：7世紀後葉
墳形：円墳か
直径：15m前後
出土遺物：土師器・須恵器

平成2・26年に発掘調査を行い、横穴式石室が確認されています。石室内から土師器・須恵器が出土しました。現在は埋め戻され、地中に保存されています。

3 三明神社古墳 (神領町1-26-2)



築造時期：不明
墳形：円墳
直径：20m
出土遺物：不明

墳丘の南側の斜面には三明神社社殿が建てられています。平成14年に測量を行い、聞き取り調査から埋葬施設は横穴式石室と考えられます。

4 大留荒子古墳 (大留町1-16-1)



築造時期：7世紀前半
墳形：円墳
直径：約10m
出土遺物：須恵器・鉄製品(直刀・鉄鏃)・金環

昭和63年に発掘調査を行い、表面には葺石が葺かれ、真南からやや西に開口した横穴式石室が確認されました。元々は現在地から北西約200mの場所に所在し、現在は荒子公園内(大留町1-9)に移設保存されています。

5 親王塚古墳 (大留町5-27-5)



築造時期：6世紀中葉～後葉
墳形：円墳
直径：約15m
出土遺物：須恵器・鉄製品(鉄鏃・刀子)
・金環・人骨

昭和44年に発掘調査を行い、横穴式石室が確認され、金環が複数出土していることから被葬者は2名以上と推定されます。現在は神明神社境内に復元保存されています。

6 天王山古墳 (大留町6-13-4)



築造時期：4世紀後半
墳形：円墳
直径：約34m
出土遺物：壺形埴輪

平成16・17・22年に発掘調査を行い、墳丘は3段築成で、葺石や周溝が確認されました。段築平坦面には赤彩を施した壺形埴輪が数m間隔で並べられていたと推定されます。壺形埴輪から高御堂古墳に後続する古墳と推定されます。

7 気噴第7号墳 (気噴町5-13)



築造時期：7世紀
墳形：円墳
直径：12m
出土遺物：土師器・須恵器

平成19年に発掘調査を行い、横穴式石室のほか、葺石と周溝が確認されました。墳頂部からは土師器・須恵器が出土しており、墳頂部分で祭祀が行われた可能性が考えられます。